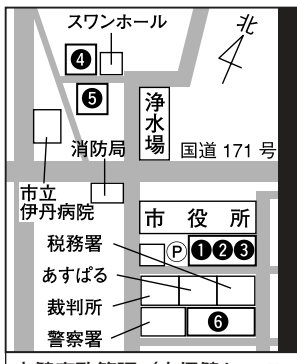
健康



市健康政策課（市保健センター）
❶母子保健担当
☎784－8034 ファクス 784－8139
❷健診・健康づくり担当
☎784－8080 ファクス 784－3281

休日・夜間の診療

【内科】❸休日応急診療所
☎784－8171 ファクス 784－8141
▷土曜＝18：00～21：00▷日曜、祝日＝9：00～12：00／18：00～21：00

【小児科】❹阪神北広域こども急病センター
☎770－9988 ファクス 770－9905
▷平日＝19：30（診察は20：00から）～翌6：30▷土曜＝14：30（診察は15：00から）～翌6：30▷日曜、祝日8：30（診察は9：00から）～翌6：30

【歯科】❺市口腔（こうくう）保健センター
☎・ ファクス 783－0078
▷日曜、祝日＝9：00～12：00
（受け付けは11：30まで）

【眼科・耳鼻咽喉（いんこう）科】休日夜間急病診療所
☎06－6436－8701
ファクス 06－6431－9301
（尼崎市水堂町3－15－20）
・眼科▷日曜、祝日＝9：00～16：00
・耳鼻咽喉科▷土曜＝18：00～20：30
▷日曜、祝日＝9：00～16：00
※休日・夜間の医療機関の案内などは、「いたみ健康・医療相談ダイヤル24」
0120－783－990

❻県伊丹健康福祉事務所（伊丹保健所）
☎785－9437 ファクス 777－4091

8月13～15日開設
休日応急診療所

開設時間

8月	午前	午後
13日(土)	午前9時～正午	午後6～9時
14日(日)		
15日(月)		

お盆期間（8月13～15日）の休日応急診療所（内科）の開設日時は**右表**の通り。

来院前に必ず電話で問い合わせし、受診の際は健康保険証などを持って、診療終了時間の30分前までに受け付けをしてください。

急病時などの救急医療機関の案内や気になる症状、健康相談などは「いたみ健康・医療相談ダイヤル24」0120・783・990へ。

問市保健センター☎784・8034。

◆胃がん・肺がん検診　市は**左表**の通り防災センターで胃がん・肺がん検診を実施します。検査は午前中のみ。定員あり。

対象は▽胃がん・肺がん検診＝昭和58年3月31日以前生まれの人（妊娠中や放射線治療中などの人除く）▽喀痰（かくたん）検査（肺がん検診とセット）＝48年3月31日以前生まれで喫煙指数（1日当たりの本数×年数）が600以上である人（過去における喫煙者含む）。容器は事前に送付。痰をとって検診当日に持参を。当日の問診の結果、受診できない場合もあります。

受診料は▽胃がん検診＝500円▽肺がん検診＝100円▽喀痰検査＝400円――です。満65歳以上は無料。

肺がん検診に併せて、アスベスト関連疾患検診も受診できます。無料（肺がん検診料は必要）。肺がん検診申込時に申し出を。

◎市国保特定・後期高齢者健診　対象は40歳以上の市国保加入者と後期高齢者医療制度の被保険者。

市国保加入者は受診時に受診券が必要（後期高齢者医療制度の被保険者は不要）。対象者には5月下旬に受診券を郵送しています。4月以降の加入者は、❷健診・健康づくり担当に受診券の請求を。受診方法などは次の通り。

【市内実施医療機関で受診】直接、市内実施医療機関に健診日などの問い合わせを。無料。市内実施医療機関が分からない場合は❷健診・健康づくり担当へ。

【市保健センターで受診】10月7日(金)の午後。男性が先。定員70人。無料（要予約）。追加検査・検診で、肝炎ウイルス検査・大腸がん検診、前立腺がん検診（昭和48年3月31日以前生まれの男性のみ）も併せて受診できます（満65歳未満は有料）。大腸がん検診を希望する場合は健診日の1週間前までに申し込みを。

＊　＊

申はがきかファクスに住所、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、電話番号、希望する検（健）診名、受診希望日を書いて、〒664・8503伊丹市役所健診・健康づくり担当（電話か市ホームページから電子申請も可）へ。先着順。検（健）診日の約10日前に受診案内を送付します（予約が取れない場合のみ健診・健康づくり担当から連絡）。

胃がん・肺がん検診日程

月	日(曜日)
9	12日(月)A
	24日(土)B

受付時間は午前9～11時。Aは男性、Bは女性が先に受診。肺がん検診のみの受け付けは終了。

献血に協力を

8月12日(金)▽午前10時10分～正午▽午後1時10分～4時、市保健センターで献血を行います。

また、塚口さんさんタウン献血ルーム（尼崎市南塚口町）では、毎日（年末年始除く）献血を行っています。

献血カードを持っている人は、献血Web（ウェブ）会員サービス「ラブラッド」（下二次元コードから読み取り可）に登録後予約し、献血することにより特典を受けることができます。

問県赤十字血液センター☎078・222・5013。

フレイル予防にいきいき健康大学

市は、いたみいきいきプラザで健康維持について学ぶ「いきいき健康大学」を開催します。

日程と内容は▽9月2日＝「フレイルを予防するお口のケア」▽9日＝「食事の力で〝脱〟フレイル!!」。いずれも金曜午後2時（全2回）。

対象・定員は65歳以上30人。無料（参加者に粗品進呈）。

申市介護保険課☎784・8037へ。先着順（今年度未受講の人優先）。

子育て中の一息
ほっとタイムChiPs（チップス） in 伊丹

子どもと離れ、ほっとできる空間で飲み物を飲みながら、子育ての悩みや家族のことを話してみませんか。

【日程】9月26日～11月7日（全6回）
【会場】市保健センター
【対象・定員】乳幼児を子育て中の保護者約10組

申8月1日～9月5日の午前9時～午後5時（日曜、祝日除く）に子育てサポートひかり☎0797－81－2775へ。応募多数の場合は抽選。一時保育あり（無料。要予約）。

天王寺川中卒業生対象 アスベスト関連疾患検診

平成20年3月以前に天王寺川中を卒業した人を対象に、アスベスト関連疾患検診を次の通り行います。

日程と会場は▽9月12日(月)・24日(土)＝防災センター▽10月6日(木)＝野間笠松センター▽11日(火)＝防災センター。

いずれも午前。定員各20人。無料。

申8月8～12日に電話で市教委保健体育課☎784・8087へ。先着順。

8月の健康カレンダー（最新情報は市ホームページで確認を）

場所	項目	対象	日	時間	備考
市保健センター	母子健康手帳の交付	医療機関で妊娠の診断を受けた人	開庁時間内随時。窓口で妊娠届出書を記載。マイナンバーカードまたは通知カードと本人確認書類（運転免許証・パスポートを1点もしくは健康保険証・年金手帳など2点）を持参		
	もうすぐパパママ教室（申し込みは1日から）	妊娠している人。家族1人同伴可	12・19日	申し込みなど詳しくは市ホームページで確認を	
	モグモグ離乳食教室（申し込みは1日から）	令和4年2・3月生まれ（離乳食開始の頃、初期の人向け）	19・30日	10:00～12:00（9:30から受け付け）	定員各10組（第1子優先）。先着順 ❶母子保健担当
東リいたみホール	ぷれママ＆ふれっしゅママのつどい（申し込みは1日から）	妊娠24週以降で第1子妊娠中か産後1か月健診を終えた6か月児未満とその保護者	26日	申し込みなど詳しくは市ホームページで確認を	
市保健センター	乳幼児発達相談（要予約）	発育・運動発達などの心配がある人（就学前まで）	日時は予約時に問い合わせてください。❶母子保健担当		小児科医・理学療法士・保健師による面接相談
	幼児の相談（要予約）	言葉の遅れ、しつけなどの心配がある人（1歳から就学前）			心理士・保健師による面接相談
	すくすく育児相談（要予約）	育児に関して悩んでいる人	1・8・15・22・29日	予約時に問い合わせてください。❶母子保健担当	保健師・栄養士による面接相談
医療機関	4か月児健診	個別に案内しています			詳しくは市ホームページで確認してください。また、市外から転入した人で、まだ受けていない健診がある場合は、市保健センターへ連絡してください
	10か月児健診	令和3年10月生まれ	日時は直接、実施医療機関に問い合わせてください		
市保健センター	1歳6か月児健診	個別に案内しています			
	3歳児健診				
	健康度アップ相談会（生活習慣や健康に関する相談会）	20歳以上	23日	受け付け 9：00～11：00（要予約）	体組成測定可（要予約）❷健診・健康づくり担当
市民健康センター	歯科保健相談	幼児・一般・妊婦	25日	13:00～14:00	歯や口の相談（予約不要）。無料
県伊丹健康福祉事務所	ふん便検査 飲料水検査（所付）	一般	1・2・8・9・15・16・22・23・29・30日	9:00～11:00 ☎785-9437 ファクス777-4091	指定容器が必要
	HIV抗体検査（要予約）（健康管理課）	希望する人	4・18日	13:15～14:00 ☎785-2371 ファクス777-4091	
	肝炎ウイルス検査（要予約）（健康管理課）				医療機関での受診も可。詳しくは同事務所へ
	専門栄養相談（要予約）（健康管理課）	希望する人・企業	22日	13:30～15:30 ☎785-7861 ファクス777-4091	食品表示（保健事項）や難病患者等の食事に関する相談
	こころのケア相談（要予約）（地域保健課）	希望する人		13:30～15:00 ☎785－7874 ファクス777-4091	精神科医師による心の相談
	アルコール相談（要予約）（地域保健課）		10日	13:00～15:00 ☎785-7874 ファクス777-4091	精神保健福祉士による相談

不育症治療支援

妊娠してもお腹の赤ちゃんが育たず流産や死産を繰り返す状態を不育症といいます。市は、不育症の検査・治療費の一部を助成します。対象は▷妻の年齢が43歳未満▷夫婦の合算所得が400万円未満――の法律上の夫婦。

助成内容は、**下表**の項目で保険適用外医療費のうち▷検査費用＝10分の7▷治療費＝2分の1。今年度中の検査・治療が対象。

申来年3月31日までに市保健センター☎784－8034へ。

一次スクリーニング	抗リン脂質抗体	抗カルジオリピンβ2グルコプロテインⅠ（CLβ2GPⅠ）複合体抗体
		抗カルジオリピン（CL）IgG抗体
		抗カルジオリピン（CL）IgM抗体
		ループスアンチコアグラント
	夫婦染色体検査	
選択的検査	抗リン脂質抗体	抗PEIgG抗体（抗フォスファチジルエタノールアミン抗体）
		抗PEIgM抗体（抗フォスファチジルエタノールアミン抗体）
	血栓性素因スクリーニング（凝固因子検査）	第Ⅻ因子活性
		プロテインS活性もしくはプロテインS抗原
		プロテインC活性もしくはプロテインC抗原
		APTT（活性化部分トロンボプラスチン時間）
検査	絨毛染色体検査（9月30日までに検査したもの）	
治療	低用量アスピリン療法	
	ヘパリン療法（ヘパリン在宅自己注射療法、ヘパリノイド（ダナパロイドナトリウム）を使用するものを含む）	